

協議事項 7

特別支援教育の充実について

特別支援教育の充実について、次のとおり提案する。

令和 8 年 6 月 18 日 提出

神戸市教育委員会事務局
事務局長 竹森 永敏

特別支援教育の充実

特別支援教育課

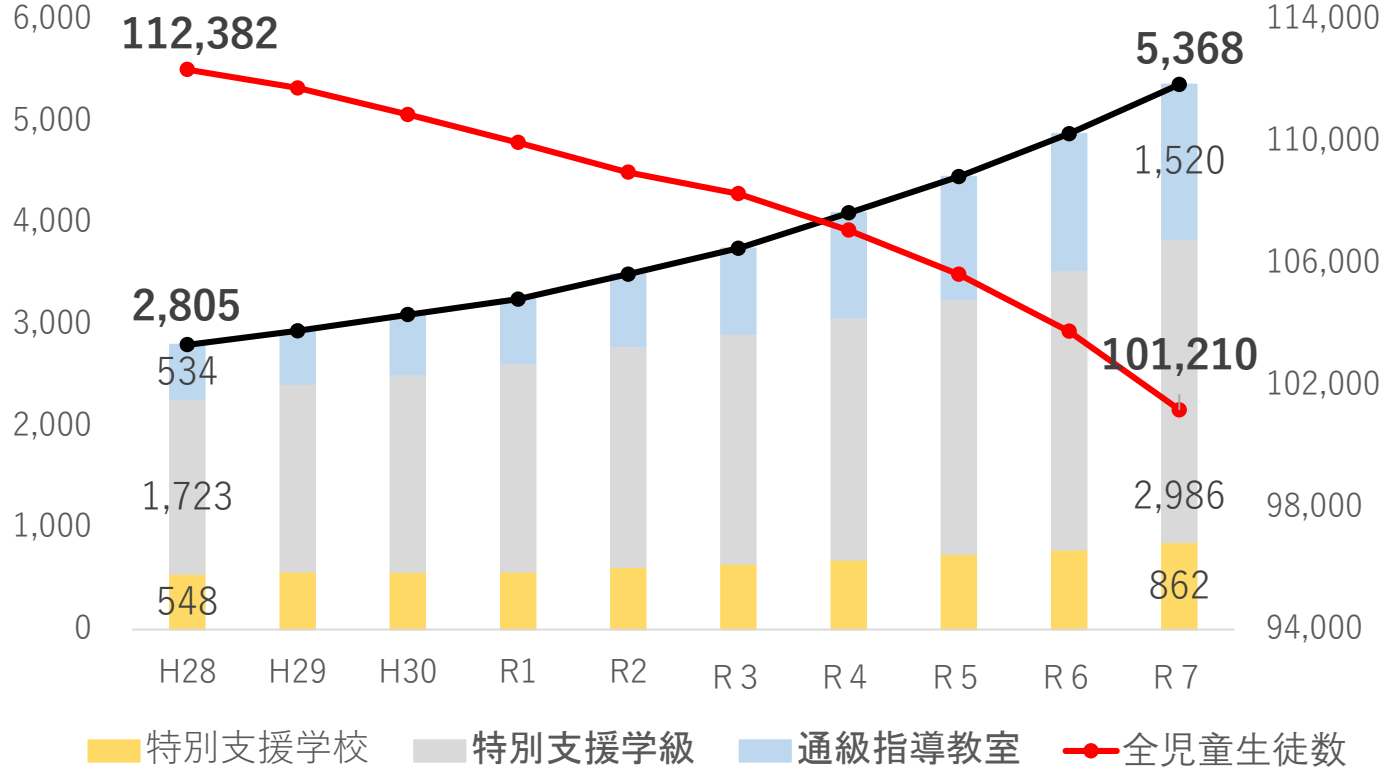
目次

- 1 特別支援教育の現状
- 2 めざす姿・方向性
- 3 令和8年度の主な取り組み
- 4 市立特別支援学校の児童生徒数
- 5 人材育成

1

特別支援教育の現状

義務教育段階において特別支援教育を受ける児童生徒



全児童生徒数



1割減少

特別支援教育を受ける児童生徒数



倍増

1

特別支援教育の現状

○通級による指導

- ▶ 小・中学校等において通常の学級に在籍し、通常の学級での学習におおむね参加でき、一部特別な指導を必要とする児童生徒に対して、障害に応じた特別の指導を行う指導形態

○特別支援学級

- ▶ 小・中学校等において、障害による学習上又は生活上の困難を克服するために設置される学級

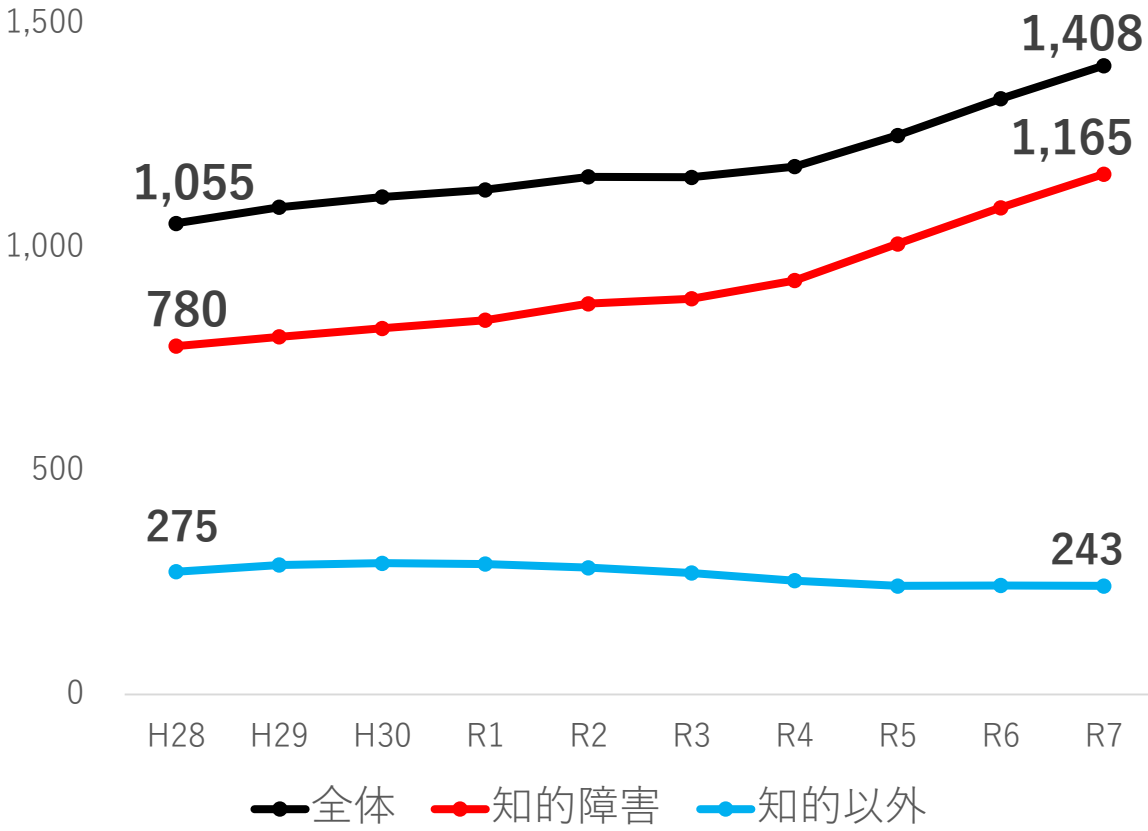
○特別支援学校

- ▶ 障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする学校

1

特別支援教育の現状

市立特別支援学校の児童生徒数



特別支援学校に在籍する児童生徒の増加



約1.3倍

知的障害の児童生徒が著しく増加

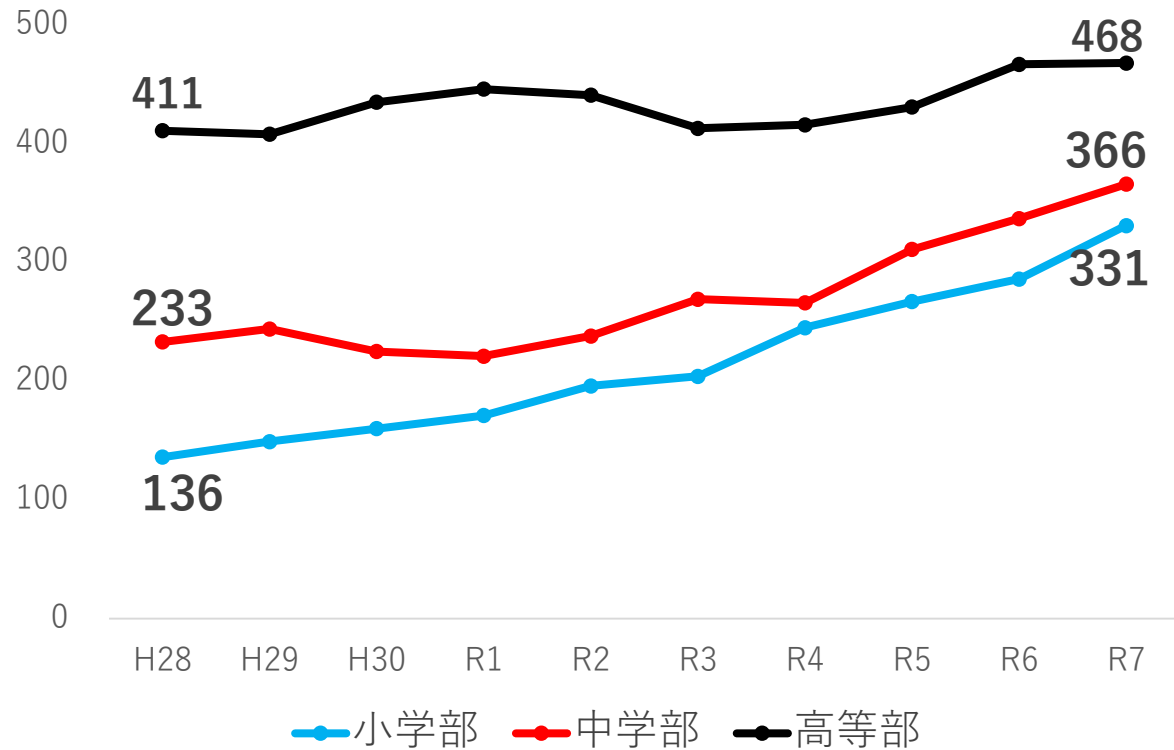


約1.5倍

1

特別支援教育の現状

知的障害部門の児童生徒数



小学部・中学部の児童
生徒が著しく増加
小 2.4倍、中 1.6倍



特別支援学校の過密化

2

めざす姿・方向性

- インクルーシブ教育の推進
- 増加する特別な支援を必要とする児童生徒へのきめ細やかな支援

(参考) 第4期神戸市教育振興基本計画 ※抜粋

基本政策2 / 一人ひとりに応じたきめ細やかな支援

<重点施策>

- ・障害に応じた特別支援教育の充実

めざす姿・方向性

重点取組

- 保護者の適切な就学先選択に向けた支援
- 地域校における特別支援教育の充実

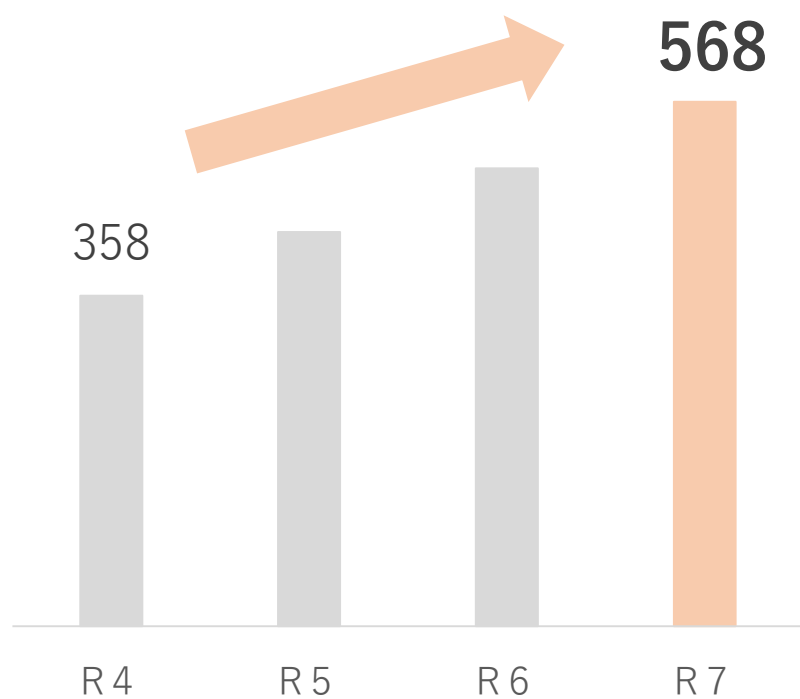
主な事業

- 就学相談の充実
- 学校支援チームの立ち上げ
- 自校通級指導教室の設置・拡充
- 担当主事による学校訪問

3 令和8年度の主な取り組み

(1) 就学相談の充実

就学相談（5歳児）の件数



○相談対応の拡充

▶ **年間650組**の相談への対応

○相談会場の新設

▶ 灘区文化センター、須磨区役所

○就学相談後の状況把握・相談支援

3

令和8年度の主な取り組み

(2) 学校支援チーム

役割

- ・学級集団の様子を参観
- ・児童生徒の理解や学級運営の工夫等について教員に助言

効果

- ・児童生徒や学級の困りが大きくならないよう未然防止
- ・特別支援教育の理解推進

(参考) R7年度の活動実績

- ・地域校への訪問 ▶ **50校・82回**
- ・拠点校通級担当者向け研修 ▶ **38回**

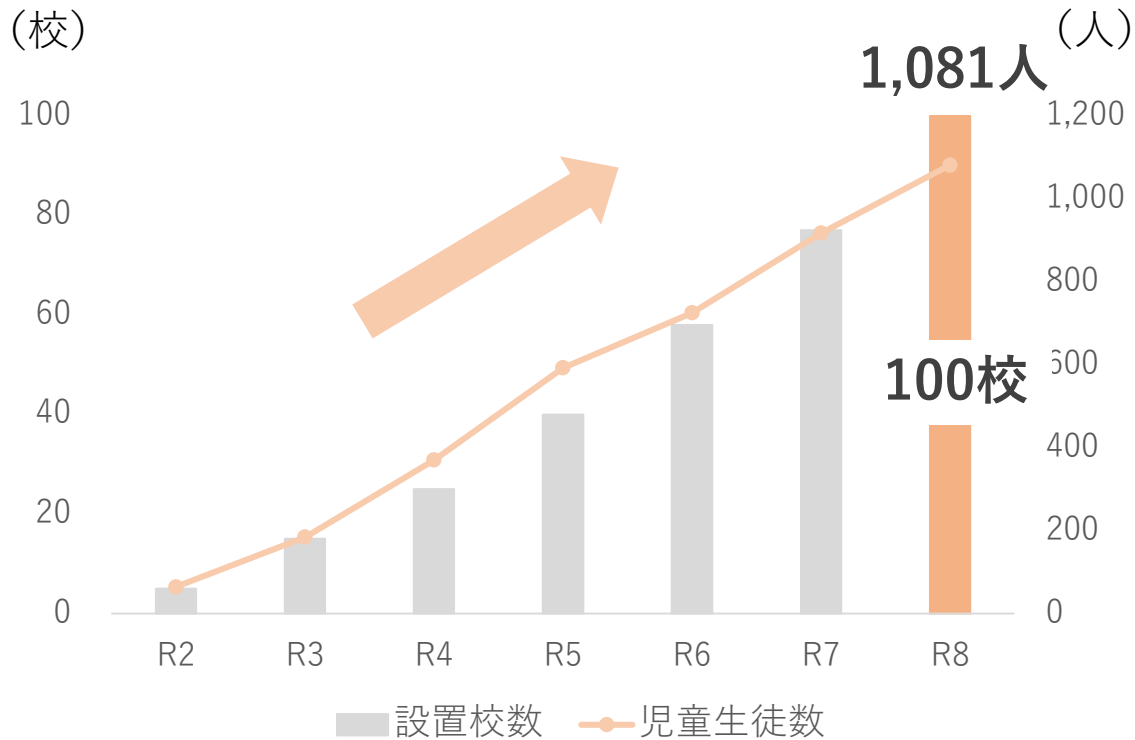


3

令和8年度の主な取り組み

(3) 自校通級指導教室の設置・拡充 ※予算額：37,731千円

自校通級指導教室設置校数・児童生徒数



※児童生徒数：各年度5月1日時点

自校通級指導教室 **23校新設**
計100校設置

令和18年度までに必要な
全ての小中学校に設置

3

令和8年度の主な取り組み

(3) 自校通級指導教室の設置・拡充 ※予算額：37,731千円



児童生徒の多角的なアセスメント
や支援計画作成等をサポートする
ICT教育ソフトを導入

より効果的な自立活動支援

3

令和8年度の主な取り組み

(4) 市立高等学校における通級による指導

○担当者を**拠点校**に配置（摩耶兵庫、神戸工科、楠）

▶ 拠点校から他の高校へ巡回指導

(5) 幼稚園における通級による指導

○**幼稚園通級指導教室**の設置

▶ モデル園（御影・長尾）で先行実施

3

令和8年度の主な取り組み

(6) 地域校への支援

※予算額：1,080千円

○特別支援教育課による学校訪問・伴走支援

特別支援学級の課題

- ・ 個別最適な学びの充実
- ・ 校内における特別支援教育の理解推進
- ・ 特別支援教育に関する人材育成

担当主事による学校訪問

+

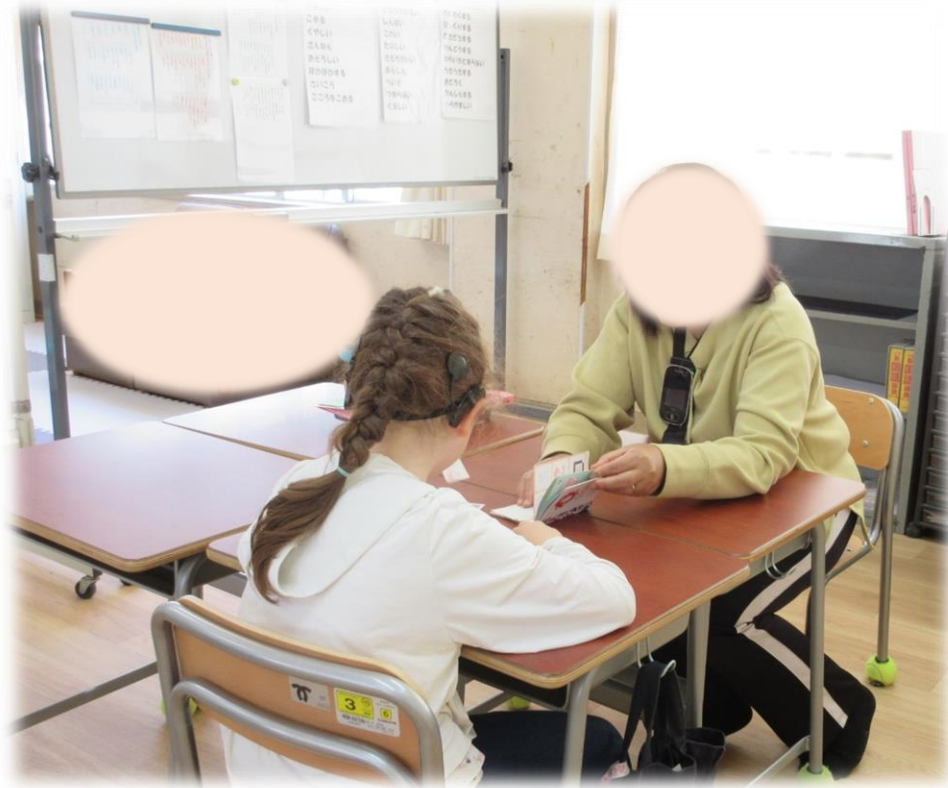
学識経験者を活用し、重点的に支援する小・中学校を伴走支援

3

令和 8 年度の主な取り組み

(7) 視覚・聴覚に障害のある児童生徒への支援

○難聴学級の設置 ▶ 小学校 4 校において新設



3

令和8年度の主な取り組み

(7) 視覚・聴覚に障害のある児童生徒への支援

○視覚・聴覚に障害のある児童生徒が在籍する学校へ
教員向け巡回フォロー (参考) R7年度 ▶ 35校訪問

○盲学校と地域校における交流及び共同学習



3

令和8年度の主な取り組み

(8) 医療的ケア支援

○地域校への看護師の派遣

- ▶ R7年度に看護師の派遣上限時間撤廃
- ▶ 派遣時間15時間超えの医療的ケア児 **4名**



3

令和8年度の主な取り組み

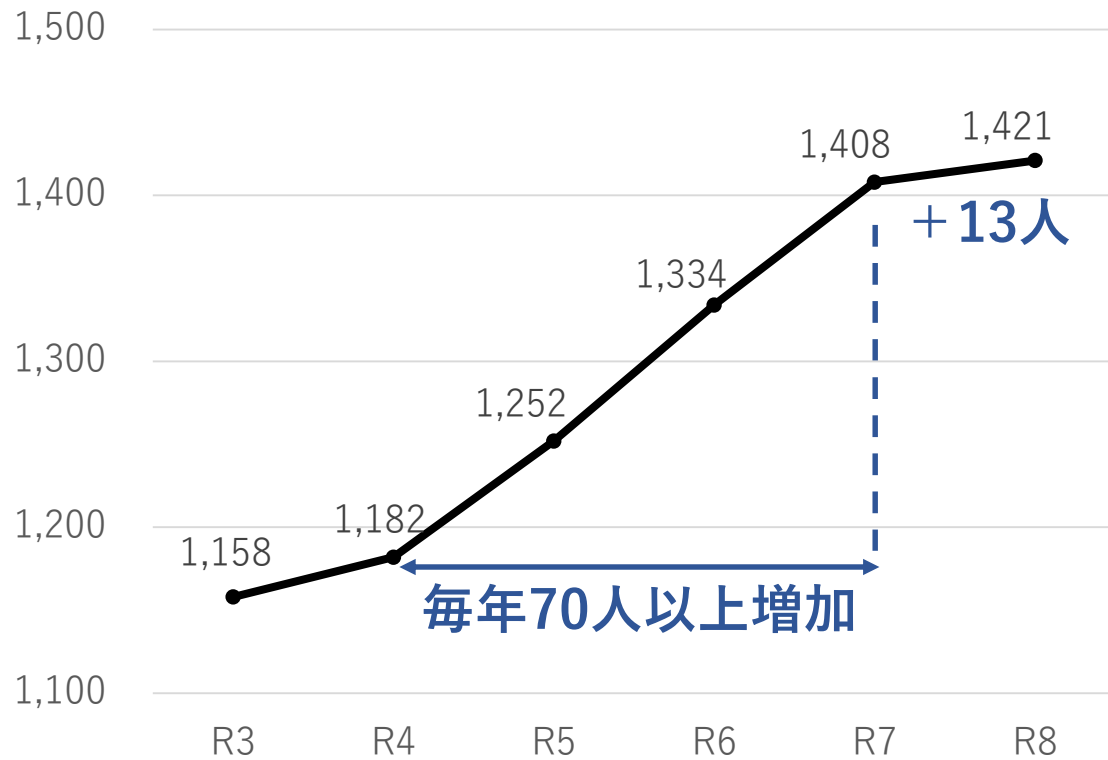
(9) いぶき明生支援学校分校設置

- 校舎の改修工事 ※予算額：215,794千円
- 分校開校に向けた懇話会開催
- 通学対象児童生徒の保護者向け説明会開催



4

市立特別支援学校の児童生徒数



特別支援学校における
人数の伸びが大幅に鈍化

R7 + 74人 ▶ R8 + 13人

知的 小中学部の増加人数
R7 + 74人 R8 + 7人

5

人材育成

○ICT教育ソフトの導入

- ▶ 教員向け研修動画（約150本視聴可能）

○研修の充実

- ▶ 障害理解を深める基礎的な研修の拡充
- ▶ ICT教育ソフトの活用に関する研修

○その他

- ▶ 大学院等への派遣
- ▶ 校種を超えた人事異動

